

# 天童城主天童氏

天童氏は、羽州探題斯波氏うしわたんたいしの一族で、清和源氏の流れを汲む武家の名門です。14世紀頃、斯波兼頼かねよりの弟義宗よしみねが、成生庄なりうぶのしょう(現在の天童市)の地頭里見氏の養子に入り、次いで、兼頼の孫にあたる頼直よりなおが里見氏を継ぎました。天授元年(1375)、

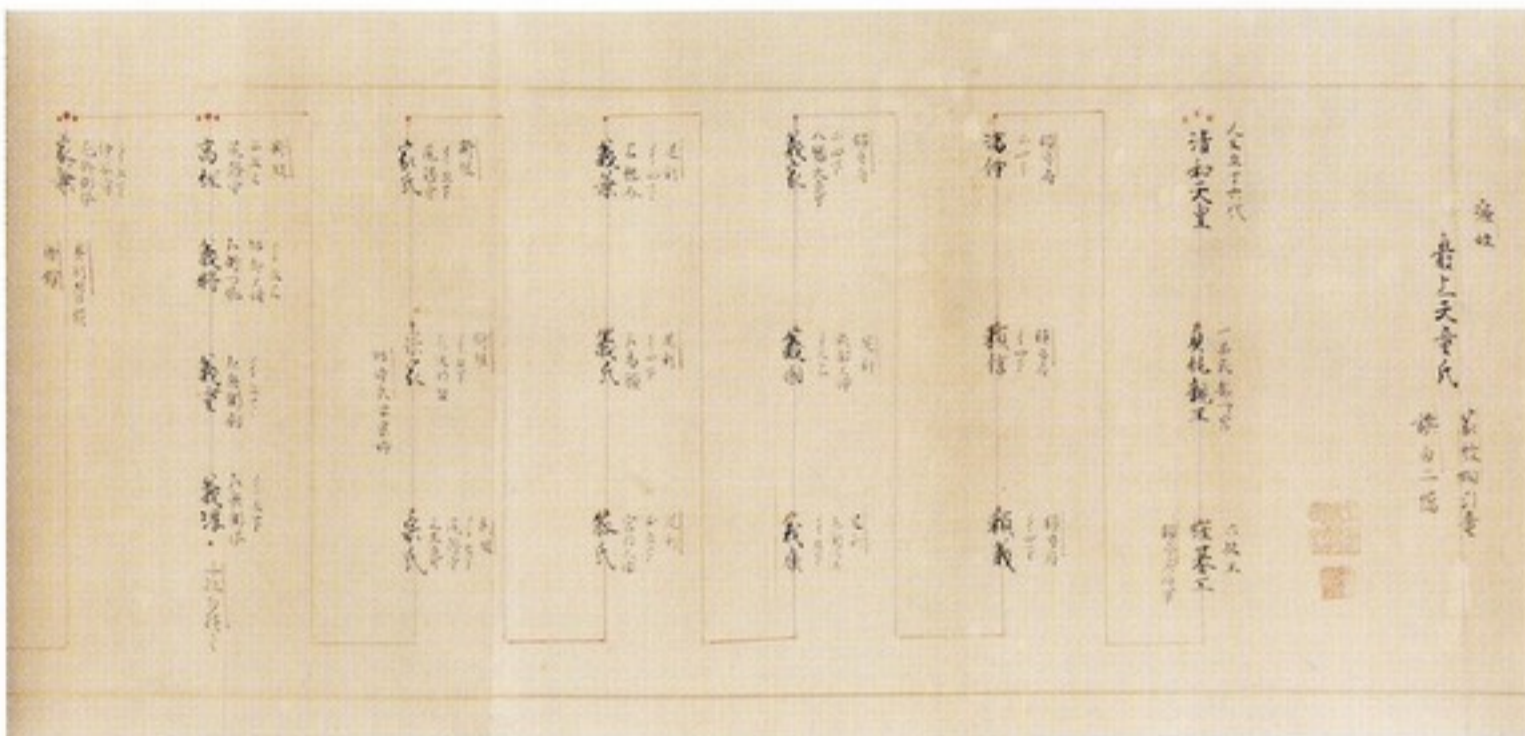
頼直が天童城山しんやま(舞鶴山)に本拠地を移し、天童の姓を名乗るようになります。南北朝時代、天童氏は斯波氏とともに北朝方を支え、やがて村山地方を代表する有力な領主として頭角を現していきます。



八幡山古戦場 天童市(天童市教育委員会)  
天正12年、最上氏との戦いの舞台となった場所。



天童古城(天童城山) 天童市(天童市教育委員会)



最上天童氏系図

# 陸奥国へ

天正12年(1584)、天童氏と最上氏の命運をかけた戦いが行われました。かつての盟友延沢氏のべさきも最上方に付き、劣勢となった天童頼久よりひさは支えきれず奥州に落ち延びます。宮城郡国分寺郷こくぶんじ(現在の仙台市)の領主国分盛氏こくぶんもりうじが母方の祖父という縁を頼り、その庇護を受けて伊達家家臣に加えられました。



伊達政宗より天童殿宛書状(天童勲氏)  
天正17年(1589)に天童頼久が伊達家家臣になっていたことを示す資料。



小路喜太郎稲荷神社 天童市(天童市教育委員会)  
舞鶴山にある天童氏の守り神。